

中国特殊グループ

コミュニケーション

communication

■中国特殊グループ
〒745-0801 山口県周南市大字久米3078番地の1 TEL 0834-26-0500 <http://www.chutoku-g.co.jp>
■2008年10月1日発行 中国特殊グループ社内報「コミュニケーション」 Vol.7

平成20年度スローガン

ね ば る 『根張る』



中国特殊グループ 代表 吉本英子

テーマの『根張る』について考えてみよう。

本来ねばるとは「粘る」「諦めない」「根気強い」等の表現に使いますが、その上にもう一つ、どんな厳しい時代になっても、しっかり根を張ってさえいれば、我がグループは生き残れる、の意味を込めて当て字の『根張る』にしております。

新体制に代わって2年目に入りました。あっという間の1年間でしたが、この1年間で強く見直しに迫られたのが人事でした。適材適所に大幅な異動を行いました。まだ万全とは言えません。全ては役職の皆さんの意識に掛かっていますが、例えば年の途中でも適性でないと判断した場合は配置が変わります。

又今期は、大きな事業が2つあります。リライフの脱塩設備と吉本興業の選別ラインの建設です。大きな投資で建屋も、設備も立派な物が出来ますが、余裕があって始めた訳ではなくグループの生き残りを賭けての投資です。この事業が成功するか否かは、全て社員一人一人の意識に掛かっています。

そこで皆さん、もう一度何のために「改革」が必要だったのか原点に戻って考えてみましょう。『誇りの持てる企業』を目指し、まず『ISO』を経営の中に取り入れました。又『企業は人なり』で人材教育にも力を入れて参りましたが、中には今だ、教育の必要性を理解出来ない者もおります。なぜ教育が必要なのか、例えば私達の業種はサービス業になります。私達はいつも『お客様第一主義』と唱えておりますが、皆さんは、どのように解釈をしていますか。

イエローハットの鍵山相談役は『最大のサービスは、君の人格を上げることだ』と言われました。正にこの一言に尽きます。どんな建物や最新の設備を持ってしても、それを動かす「人」が未熟では荒波を乗り越えられません。だから教育が必要なのです。

今期は当たり前のことが当たり前に出来るように『4S』を徹底します。『4S』が出来れば自然に『6S』につながっていきます。

又行動指針『パッション』の一つ一つ意味をかみ締めながら唱和しましょう。『パッション』の最後の言葉に『ネバーギブアップ決して諦めない』とあります。何があっても簡単に諦めない。解決するまで、粘って粘って粘りぬく努力をしましょう。

2008年度 中国特殊グループ事業発展計画発表会

スローガン 『ね ば る 根 張 る』

日時：平成20年9月12日（金曜日）16：00～
場所：遠石会館

『念根』 ～坂村真民～

念は根である 祈りの根がしっかりと大地に深く広がり力を持っておれば 花はおのずと大きく
開き 念は必ず成就する これは天地宇宙の 原理であり 摂理である お互い 念の根をしっ
かりしたものにしてゆこう

ご来賓の皆様

サマンサジャパン(株)代表取締役会長兼 CEO 小野英輔 様
中小企業金融公庫下関支店融資課長 齊藤善幸 様
山口銀行櫛ヶ浜支店支店長 竹田重喜 様



中国特殊グループの将来ビジョン

中国特殊(株)代表取締役 橋本ふくみ

企業像

情熱を持って実現へ

企業イメージ・・・快適環境創造企業

限られた資源の有効活用を促進し、地球環境の保護に貢献すると
ともに、生活環境を豊かにします。

目指すポジション・・・地域から愛され必要とされる企業

1. 中国地区でお客様満足度 NO.1 企業を目指します。
2. 固有技術を磨き得意分野でオンリーワン企業を目指します。
3. 社員満足度を追求し業界 NO.1 の待遇を目指します。



小野英輔様

2008年度・経営方針

グループ4社共通

①理念〈信条〉教育を徹底する。

- 管理者への徹底

②4S(整理・整頓・清掃・清潔) を徹底する。

- 4S 教育の計画的実施
- 定期的な相互診断の実施

③社員の意識向上と能力アップを図る。

- 無事故・無災害目標達成への挑戦
- 管理者のリーダーシップ・マネジメント能力の強化
- コアコンピテンシー（社員の行動指針）教育の徹底



齊藤善幸様



竹田重喜様

中国特殊(株)社長就任 2 年目の抱負

代表取締役 橋本ふくみ



社員の皆さん、こんにちは!毎日お客様へ心を込めたサービスをお届け下さり、ありがとうございます。

私たちは、創業以来40年余りに渡り、お客様が快適な環境で生活出来るよう、お手伝いさせて頂いております。それは、私たちにとって特別なことではなく、当り前のことなのですが、近年『環境』がクローズアップされ、私たちの仕事も世間の関心を集めるようになりました。注目されることに慣れていない私たちですが、やっと脚光を浴びるチャンスが来たのです!皆さん、準備は出来ていますか?私たちの考えや行動、見た目に至るまで興味を持って下さるのです。そこで、今期は改めて経営理念の深い理解や4S(整理・整頓・清掃・清潔)を徹底していきます。今年のスローガンは『根張る(ねばる)』です。どんな突風が来ても倒れない木のように、しっかり根張っていきましょう。皆さんよろしくお願いします!

(株)吉本興業新年度抱負

代表取締役 大山鉄夫



中国特殊グループの新年は八月です。八月一日は我々にとって新しい年の始まりです。あらたな気持ちで、もう一回やってやろうという気持ちになるのが八月一日です。

いま、世界はリサイクル時代です。我社も廃棄物リサイクル処理事業に取り組んで早いもので四年目に入りました。最初のうちは戸惑いもありましたが、いまでは選別リサイクルをするのがあたりまえになっております。今期には我々の念願だった、産業廃棄物選別リサイクルが下松工場に完成いたします。一月から二月には本格稼動に入ります。これで、我社も地球環境に貢献できると思っています。

今、限りある地球資源を守るために、さまざまな産業分野で廃棄物の再利用、すなわちリサイクルへの取り組みが進んでいます。リサイクルするにあたってその前段階としてきわめて重要なのは廃棄物を選別あるいは粉碎、分解することです。

ごみは、分けてこそ資源になるのだといえます。その意味でも、選別なくして、リサイクルはありえません。

燃やさない、埋めないという理想のリサイクルを追求して、廃棄物の完全リサイクルを目指していくとともにこれからも、ごみ処理の最前列にいる者としての自覚をしっかりとって、ただ単に収集運搬するだけではなく、これまで培ってきたノウハウを活かしていき、お客さまによきアドバイスができるように全社員が一丸となりこれからも努力していき、中国特殊グループの重点施策である ① 法令順守の徹底 ② 無事故、無災害ゼロ ③ 技術開発力の向上 ④ 4Sを念頭におき今一度徹底していきます。

(株)藤井興業新年度抱負

代表取締役 平岡仙吉



皆さん、こんにちは。多忙な毎日お疲れ様です。

中国特殊グループは、ISO14001を日常の業務の中に取り入れ各種の改革を始めて8年になります。

(株)藤井興業は小規模世帯ではありますが、グループの一員として、常に法令順守を基本とし、水質、安全、衛生管理、技術力、サービスの向上に努め、お客様に「安心と信頼」を提供します。又今期は4S(整理・整頓・清掃・清潔)を徹底します。

以上の事を念頭に置き、会社の長所を行政関係やお得意様、又これから「お客様になって頂ける」であろう企業の皆様へ、会社の売り物をどんどんアピールして安心して、仕事をいただけるようにガンバります。

脱臭装置開発（第2報）

技術 CS 統括部 大山 超
開発チーム一同

平成20年3月に山口県中小企業成長育成支援補助金により開発した脱臭装置は目標通りの性能を示し、2台のバキューム車に搭載し補助事業を無事に完了することができた。

現在は脱臭装置に入れる一回分の脱臭薬剤がどれくらい処理能力を持続できるかについてデータ取りを行っている。また新たな脱臭効果をもつ候補薬剤や薬剤の積み下ろし作業が容易で安全かつ高効率な構造に改造することも視野において進めているところである。

薬剤の処理能力の持続性は、夏季の高温条件でデータがばらつくなど問題はあるが、大まかな傾向として昨年の予測よりも長く脱臭効果が持続されるようである。

開発チームの今年度の目標は、完成度の高い脱臭装置の開発に置いているが、装置を世に送り出すまでにはまだ踏まなければならないステップがあり、例えば中国特殊の全車両に脱臭装置を取り付け、現場作業を通じてあらゆる問題点を洗い出し、改良し、さまざまな場面に対処する経験を積み、装置にゆるぎない自信をもつまで熟成しなくてはならないとも考えている。

足かけ3年間の試験段階を終えたいま、この装置の構造に特色を持たせ、薬剤等の維持費を少額に抑えるシステムとするなど、工業的な開発段階に入ったことを知るものである。

ここまでの開発を理解し、励まし推進していただいた吉本会長ならびに橋本社長に改めて感謝するとともに、本プロジェクトを採択し、共同開発チームを立ち上げるまでリードしていただいた周南新商品創造プラザ、快く開発チームに参加された岐山化工機株式会社の卓越した技術力と経験が開発の要となったことを改めて思う。末尾になるが開発補助金を交付していただいた県、やまぐち産業振興財団に改めて謝辞をのべるものである。



脱臭装置搭載車

共同開発チームを立ち上げるまでリードしていただいた周南新商品創造プラザ、快く開発チームに参加された岐山化工機（株）の卓越した技術力により完成しました。

開発チームメンバーを紹介します

左から	チームリーダー	平岡 仙吉
	開発責任者	大山 超
	サブリーダー	和山 正一
		水本美智也
		藤井俊一郎



知的障害者の瑞宝太鼓周南公演

知的障害のあるプロ和太鼓集団、「瑞宝太鼓」が5月10日周南市民館大ホールで開演されました。親子づれなど千人が団員のひたむきな演奏する姿に感動しました。周南公演実行委員会（中国特殊グループ会長 吉本英子）主催、周南青年会議所、徳山商工会議所青年部、共催、東ソーグループ、(株)トクヤマ、帝人、出光、山口銀行、サマンサジャパン、徳山海陸徳機、山田石油チェーン、中国特殊グループが後援し、白鳩学園、しょうせい苑、つくし園共楽園様を二百名招待しました。

吉本当社グループ代表は「この演奏を聴きに来た子供達に頑張ること、生きることの大切さが伝わったのでは」と喜んでいました。



6名の団員を紹介します

団長岩本友広



辻浩一郎



高倉照一



川崎拓也



中村美由紀



山下 弾



ホームページから

瑞宝太鼓を聴いて

中国特殊(株) リサイクルチーム 江本舞美

最初、会長から瑞宝太鼓のことを聞いた時、知的障害のある人達が、どんな太鼓を聴かせてくれるのか興味はありましたが、その反面心の中に壁をつくっている自分がいました。でもやはり聴いてみたいと思う気持ちが強く、聴きにいくことにしました。行ってみると、障害があるとはまったく感じさせない演奏に感動しました。花火が打ちあがった時と同じ振動が大ホール全体に響きわたり、体の芯まで響きました。聴く前に思っていた心の中の壁を打ち破る、素晴らしい演奏でした。

(株)吉本興業 総務統括部 兼重恵子

思っていた以上の感動でした。太鼓の響きに魂の叫びのような激しさと、思わず涙が溢れるせつなさを感じました。彼等の一糸乱れない姿に「プロなんだ。」「これが本気なんだ。」と思いました。始まるまで暇そうにしていた子供達も、太鼓の音が響き渡ると真剣な顔で聞き入り、終わる度に、おもいきり拍手をしていました。瑞宝太鼓メンバー達が、「施設でなくお母さんと一緒に暮らしたい。」と言った言葉が今でも心に残っています。いつも子供達と一緒にいることの出来る幸せをあらためて感じました。最後に素晴らしい体験を、親子で出来たことに感謝しています。

(株)リライフ 総務統括部 山田絵里奈

所用で少し遅れて入った私は、まず観客の多さにビックリしました。社長の挨拶から始まり、倉部さんのお話の中で幸せとは何かという一言には、深く考えさせられるものがありました。

そんな中、太鼓のドーンという音が会場いっぱいに鳴り響き、音に目と耳は釘付けになりました。これが障害を抱えた方達の演奏なのかと疑いを持つほどでした。私が想像する練習をはるかに超える練習が、この舞台に出ているのを感じました。

看護師である母に、仕事の話をよく聞かされていた私は、障害を抱える方の中には話が出来ない方、耳の聞こえない方、働きたくても働けない、動かしたくても動かせない身体を持つ方がいる。そんな話を聞いていただけに、瑞宝太鼓のメンバーはハンデを背負ってはいますが、プロとして自立出来ている、身体共に健康で不自由のない私達にやってやれないことはないと感じられる公演でした。また、一生懸命に何かを行える素晴らしさと、人に感動を与えられる事が出来る人に、少しでもなれるよう頑張らないといけなさと感じた一日でした。

第5回

走って 笑って 楽しんで

場所：周南市陸上競技場

日時：平成20年9月27日(土)
から28日(日) 正午



今年も24時間リレーマラソンが125チーム約1900名参加して盛大に開催された。

我がチームは初戦では、成績も奮わず一喜一憂したが、昨年よりは順位を上げようという気持ちが選手一人一人に湧き上がり、応援団の声援に励まされ、絶対無理だと云いスタートしたランナー自らの記録を大幅に変えて最終ランナーにたすきを渡した姿に多くの人に感動を与えてくれた。又最終ランナーの速さ又気持ちのよさにも感動した。

テント村も例年以上に盛り上がり素敵なコミュニケーションの場となった。



会長にかけて頂いた「リラク」を意識して走りました。



一生懸命完走を目指しました次回もチャレンジしよう。



雨が降らなくて良かった。



何とか無事に走りました。



来年は若い人たちにバトンタッチ！



何とか最後まで完走できました。



力がほしい。



最後まで激走しました。



たすきをつなぐことだけを心がけました。



寒いけどがんばりました。



筋肉痛と戦っている。



最後まで頑張りました。



最後まで完走したいです。



一生懸命爆走しました。
24時間走り抜いた最終ランナーの田中来人君です。



今年も仮装に挑戦しました。

第3弾 Think of Next 美しい地球

今年度も昨年に引き続き児童館の皆様から、環境に関する作品を応募頂きました。昨年に勝る力作揃いです。

中国特殊グループの事業発展計画発表会に於いて全ての作品を展示し、ご来賓のお客様と社員全員による収集運搬車に掲示する作品の投票を実施いたしました。どの作品が選ばれたかは、収集運搬車を見てのお楽しみです。





第2回目更新審査を受診しました

平成20年6月16日(月曜日)～17日(火曜日)

JACO

EMS 主任審査員 迫 義久氏

EMS 幹事審査員 安本 潤氏

I. 審査チームの結論

組織のマネジメントシステムは要求事項に適合有効に実施していると判断し、認証の授与を推薦します。

[組織との合意事項(付帯条件等)]は特にありません。

II. 審査所見総括

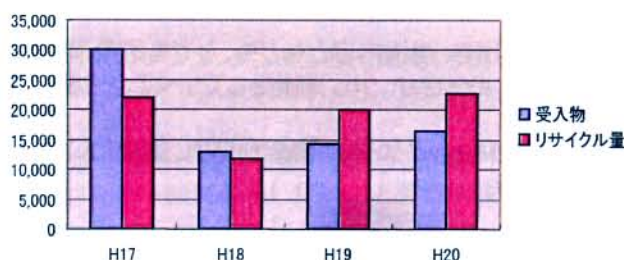
- 1) **概要:** 当社の環境マネジメントシステム(EMS)は2002年8月に初回認証取得以来、2回目の更新審査を迎えましたが、この間継続的改善に取り組んでいることを確認致しました。
- 2) **要点:**
 - a) 法的及びその他の要求事項の順守に関するシステムとパフォーマンス
該当する法的及びその他の要求事項は「環境法令等登録表」で管理され、手順に従い運用管理・監視測定されています。
 - b) 目的・目標に関するシステムとパフォーマンス
目的・目標テーマとして、資源物の受け入れ量の拡大、省エネルギー、用紙削減、廃棄物削減等を設定し改善活動に取り組んでいます。
 - c) 内部監査の実施、有効性
内部監査は活動拠点・部門、環境施設で実施(2008年4月2日～4日)されています。監査の指摘事項については是正処置を実施しています。
 - d) マネジメントレビューの実施、有効性
経営者によるマネジメントレビュー(2008年5月1日)が実施されています。
- 3) **課題及び次回審査の着眼点:** 特記する事項はありません。
- 4) **修正及び是正の要求:** 所定の期日迄に審査チームリーダー宛に不適合報告書兼修正及び是正報告書をご提出願います。

平成20年7月15日判定委員会に於いて、ISO認証の継続が承認されました。地球温暖化防止のために私達一人一人が決められた施策を順守し、少し我慢をして生活することが、「Think of Next 美しい地球」につながるものと信じています。

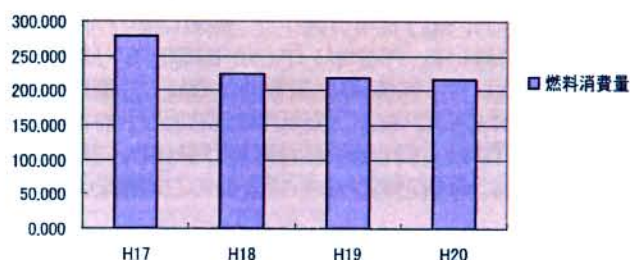
平成19年度環境パフォーマンスの結果

環境管理事務局長 重光 信

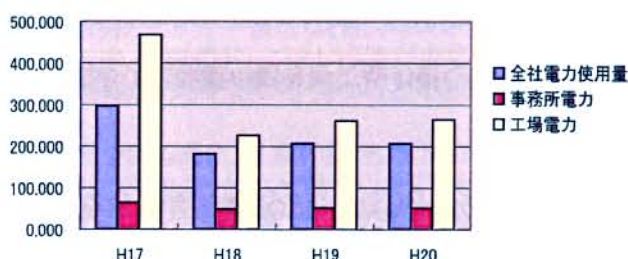
平成20年活動結果 7月現在



平成20年環境活動結果 7月現在



平成20年環境活動結果 7月現在



平成20年4月2日～4日
3日間で内部監査を実施された。
吉本興業部門監査情况

お客様が 私達も

第2回 Happy/Happy 勉強会開催

【テーマ】 全ては次世代のために “Think of Next”

講師 日本認証機構(株) 元主任審査員 永瀬 武 氏



今回は、元JACO主任審査員の永瀬武様を講師に迎え、「私たちは、生活者としてまた企業人として、何ができるか?何をすべきか?」をテーマに勉強会を開催しました。

永瀬様は冒頭で、まず物事には「原因」があって「結果」があると「考えること」から始まるのだと話された。頭で考えて初めてそれが「原因」となり、さらに、手足を動かすことで「結果」が生まれると話された。現在は、必要な情報というのはネットで調べることができる。

問題はその情報をどうするのか?どう考えるのか?と問い、自分の頭で考えていないことは「行動できない」と指摘され、これからは、「どう考えるのか?どう思うのか?」と言うことが非常に重要になると話された。

また、永瀬様は2050年には世界の人口は現在の1.4倍にあたる90億人になり、衣食住が人類の存在を脅かすと指摘し、「木を見て森を見ず」にならないよう、大きな視点で物事を見る努力、また未来の子供たちのために、世界特に先進国の人が少しずつ我慢をするしかないと話された。

また、「割れ窓理論」を例に出し「場」というものの大切さを訴え、講演を締めくくられました。

永瀬様には過去3回、ISO審査ではお世話になりました。常に厳しくもプラスになる、前進するようなアドバイスをいただいていた。今回の勉強会でも私たちに多くの事を教えてくれた。

記事(株)リライフ 坪倉伸二



※割れ窓の理論とは

建物の窓が壊れているのを放置すれば誰も注意を払っていないという象徴になり他の窓もまもなく全て壊される

勉強会には中国特殊グループ全社員と参加



(社) 山口県産業廃棄物協会会長堀様挨拶

第2回 Happy/Happy 勉強に参加して

営業統括部 リーダー(部長補佐)石田嘉邦



Happy Happy勉強会、第2回目「Think of Next」いかがでしたでしょうか。

今回も皆様のご協力ももちまして、無事に終了することが出来ました。

講師の永瀬様には、予定をしていた時間が足りないくらい、熱くご講演を頂き、講演内容ともども、とても印象深い勉強会となりました。永瀬様には講演を通して、環境のために私たちが何をすべきか。少し我慢をしていくことや良い習慣を身につけることなど、まさに考えるヒントを与えて頂きました。

営業統括部では、これからもお客様がHappyに私たちもそしてついでにHappyとなる勉強会を発信し続けたいと考えております。今後ともグループ全員のご理解とご協力をお願い致します。

中国特殊(株) HOSグループ 原田直和

第2回 Happy/Happy 勉強に参加して

環境問題の解決には、本質を志向する考え方と「木を見て、森を見ず」の諺にあるように、「木」と「森」を同時に見る視野の広さが大切と教わり、大変有意義な内容でした。永瀬講師は「木」を見ただけで「森」のことが分かる方だと話を伺いながら関心致しました。

私達は身近な環境の「場」の影響を受けるため、良い「場」をつくるために心掛けや工夫を積み重ねていきます。

中国特殊(株) HOSグループ 松村一人



自分の欲望の限りなさ、それで代めな自分自身に無意識のうちにストレスのかからないECO活動をする。やる気を自分に起こさせて下さいました。永瀬さんには心から感謝します。

社員研修旅行 研修テーマ 『国際感覚を養う』

第一班 平成20年4月11日（金曜日）日（日曜日）

場所 濟州島

第二班 平成20年4月18日（金曜日）～20日（日曜日）

研修旅行を終えて

（株）吉本興業 総務統括部 河村久美

毎回楽しみにしている研修旅行、今回は海外という事で、命の次に大切なパスポートの扱いにとっても緊張しました。話には聞いていましたが、機内への液状物の持込が禁止されており、飲みかけの飲料は空港へ到着するまでに飲み切るか、それでももし残ってしまった場合は勿体無いことですが捨てなければなりません。しかし、これもあの数年前に起きた恐ろしいテロ事件を防ぐため、みんなが安心して利用するために、仕方ないのかなあと思いました。

搭乗から約1時間後、濟州島へ到着してまず驚いたのが、景色はまるで日本！日本語の看板のお店もあるし、車の型も似ていて、海外なのにまるで日本に居るような、錯覚をしてしまいました。

宿泊したホテルでは、シャンプー・リンスなど、タオル以外のものは全て有料になっており、ごみ減量化のため、各自で用意するように呼びかけていました。それを見たとき、手荷物を減らすため、「シャンプーぐらいいは、（ホテルへ）あるだろう」と自分のことしか考えていなかった自分が、とても恥ずかしくなりました。

宴会の料理は、キムチをはじめ、かぶの漬物やチヂミ、チゲ鍋など野菜中心のヘルシーな料理でとても美味しく、また、店員さんの明るく元気な振舞いに、元気をもらったような気がします。

2日目は、運転手さん付きでワゴン車を貸しきり、ドラマロケ地等、観光をしました。運転手さんは、とても日本語が上手で「どちらから来られましたか？」と聞かれ、「山口県です」と答えると、何度か下関へ来られたことがあるということで、お寿司や日本の焼肉の話で盛り上がり、何だかとても親しみを感じました。

このような楽しい旅行が出来たのは、いろいろ企画をして下さった会社をはじめ、細かいところまで配慮下さった添乗員さん、子守を引き受けて気持ち良く送り出してくれた義母と夫、そして、お利口に待っていてくれた2人の息子たちのお陰と深く感謝しています。本当にありがとうございます。



第一班



第二班



龍頭岩



トッケビ道路



城山入出峰

第 682 期アイウィル研修を終えて



営業統括部 西川秀男

思い起こせば平成19年9月25日、第一ステップの研修初日の入所式。「とんでもないところへきてしまった。」という思いしかありませんでした。あと2日無事に過ごせるのだろうか。と不安な気持ちでいっぱいになりました。しかし、一緒に行った原田さんや班友たちのがんばりに触れることで、なんとか2泊3日を終えることができました。その後の第二ステップの通信教育、6ヶ月にわたる長丁場。今まで通信教育を受けたことがありましたが、3ヶ月が精一杯でした。ここでも原田さんのがんばりを目の当たりにして、負けるものとやり遂げることができました。

私がアイウィル研修で学んだことの1つにプラス思考があります。これまでは、何かを行う時に最初から自分にできるのだろうかとか、考えることで物事の進行が非常に遅かったところがありました。しかし今では、「やってできないことはない。自分にはできる」と言い聞かせ行動するようになりました。その結果、専門的な知識も以前に増して身につけてきたようです。また、「このくらいでいいのではないか」と自分でハードルを低くしてできたつもりになっている自分に気づかせてくれました。20の誓いの達成度で自分ではこれ位できていると思っていなくても、周りの目ではできていないと言われ続けてきたおかげです。

このようにいろいろと気づかせてくれることが多かったですが、何より1番思ったことは、困難に立ち向かうときに、自分ひとりの力では途中で挫折することがあるかも知れないが、同じ道を行く同志がそばにいて最後まで頑張れる。ということです。幸い私には原田さんという同志がそばにいたのでやり遂げることができたと思っています。第三ステップでは、共に頑張った班友がいました。一緒に戦える人がいるとどんなに心強く思えるものかと実感しました。しかしまだ終わりではありませんこれから先もさらなる成長のために進まなくてはなりません。ここで学んだことを忘れずに進んでいきます。



営業統括部 原田直和

9月下旬、スタート合宿（笠戸ハイツ2泊3日）。暗記も書くのも他の人に遅れながら付いていくのがやっとで、十数人のグループで最後から2番目に合格を頂きました。

6ヶ月間の通信教育。読書感想文の書き方自体がわからず、まず書くコツを調べる事から始めました。読書の楽しさを知る事が出来、歴史小説に感動し涙しました。（上杉鷹山）

4月下旬、完成合宿（笠戸ハイツ1泊2日）。自分の書くスピードが上がって成果が出たと感じました。暗算は早くは出来ませんでしたが一人満点を獲得できました。2日目は最後の審査、6ヶ月間の感想と今後の決意のスピーチを行いました。行う順番は同僚の西川さんが真っ先に挙手して一番手になり、勇気に感心していたら実際のスピーチも熱く素晴らしいものでした。今までならプレッシャーであがってしまう所ですが、6ヶ月間の苦勞に比べたらと思うと開き直れて、自分も練習通りに出来ました。ただしスピーチ中、膝がガクガクしでるのが分かりました。皆で卒業を肩を叩きながら喜び合った事は一生 忘れません。

スタート合宿、完成合宿では周りの人に良い刺激を受けて普段以上の力が出せました。みんな積極的で前向きでした。いい環境が自分にもいい影響を与えると分かりました。この事は今後、社内でも生かしていきます。自分の行動や発言が会社に良い影響を与えるように考えます。

日々、努力する事を毎月（6ヶ月間）提出した通信教育で身に付けました。今までずっと最後に詰め込んでやるやり方を続けていました。しかし、この通信教育は、そのやり方では出来ないほど量もあり、難し内容でした。3ヶ月目、4ヶ月目と進むうちに「少しでも今日やっておう。」という考えが身に付いてきました。実際、そうしないと締切りに間に合わなくなってしまうので、やらざるを得ない状況が続く中で自然と身に付けました。

卒業式には吉本会長と廣瀬部長が来て下さいました。祝福して頂き嬉しかったです。今後、研修で身に付けた事を仕事の中で生かして行きます。

第19回

周南掃除に学ぶ会

日時：平成20年7月5日(土)

場所：周南市立周陽中学校

トイレを素手で磨くことによって、心も磨く運動を実施している「周南掃除に学ぶ会」が周南市立周陽中学校で実施された。同会代表の小野英輔様の呼びかけで年数回実施され今回で19回目です。

掃除に学ぶことを説き実践しているイエローハットの創業者鍵山秀三郎氏『掃除哲学』に学び、実践することによって、自分の『心』と向き合う事が出来ると信じます。

中国特殊グループも子供達を含めて25名参加しました。



今回初めて参加された方の感想です。

中国特殊(株)リサイクルチーム 江本舞美

7月5日、周南市の周陽中学校にて、周南掃除に学ぶ会に参加しました。

中学校1年の息子にも、いい経験になればと思い、一緒に連れて行きました。息子は男子トイレへ、私は、中学生の女子4人と女性の方2人、計7人のグループで女性スタッフの指示のもと、女子トイレの清掃を始めました。もともとトイレ清掃は苦ではなかったので、中学生の手本になればと思い、積極的に清掃を行いました。

最初は嫌っていた子供たちも、トイレがきれいになるにつれ、積極的に女性スタッフに次の指示を仰ぐようになり、皆が一丸となって清掃をすることができました。

息子も最初は、嫌がっていましたが、「きれいになると気持ちいいね」と言っていました。

その日だけの関係でしたが、人と人との絆を感じることができました。



(株)リライフ リサイクルグループ 山田俊一

私は、今回初めて周南掃除に学ぶ会に参加しました。後で素手でしないといけなことを知り、正直ひいてしまいました。しかし掃除が始まったら、夢中になって掃除をしている自分がいました。自分でも信じられないくらいに前日まであんなに心配していたことが嘘だったかのように無心で掃除をしていました。便器を掃除していると便器が綺麗になればなる程自分の心も綺麗になっていく気がして、とても清々しい気持ちになりました。家に帰りすぐにトイレの掃除をしました。もちろん素手で。皆で協力してひとつのことをやり遂げることの素晴らしさ、そして何より掃除の大切さを学びました。これはトイレにかかわらず、リライフの施設でも言えることなので、綺麗にしていると気持ちよく仕事が出来ると思います。今回学んだことをこれからの人生に生かしていきます。



第35回周南夏祭り



青空公園特設会場に中国特殊グループ(株)吉本興業が中心になってエコグッズ販売ブースと廃棄物分別収集のPRブースを開設する、初めての試み、大盛況のうちに終わった。